

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】令和4年12月27日(2022.12.27)

【公開番号】特開2022-142845(P2022-142845A)

【公開日】令和4年10月3日(2022.10.3)

【年通号数】公開公報(特許)2022-181

【出願番号】特願2021-43073(P2021-43073)

【国際特許分類】

E 04 D 3/40 (2006.01)

10

【F I】

E 04 D 3/40 B

【手続補正書】

【提出日】令和4年12月19日(2022.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アルミニウム製の部材であって、

断面形状において、断面長手方向に延びる天面と、前記天面の断面長手方向端に形成された凹所と、前記天面における前記凹所が形成された端とは反対側の端から鉛直下方に延びる側面と、前記天面・前記凹所・前記側面で囲まれた内部空間とを有しており、  
上方に折り曲げられた、金属製横葺屋根材における鉄板部分の先端部を前記内部空間に収容するようにして配置される

棟下地。

【請求項2】

前記側面の下端から前記凹所に向けて前記天面と平行に延びる戻り部を更に有している  
請求項1に記載の棟下地。

【請求項3】

アルミニウム製の部材であって、

断面形状において、断面長手方向に延びる天面と、前記天面の両端からそれぞれ下方に延びる一対の側面と、一方の前記側面の下端から外方にに向けて前記天面と平行に延びる底面と、前記天面および一対の前記側面で囲まれた内部空間とを有しており、  
上方に折り曲げられた、金属製横葺屋根材における鉄板部分の先端部を前記内部空間に収容するようにして配置される

棟下地。

【請求項4】

屋根本体の所定位置に、請求項1から3のいずれか1項に係る棟下地が固定されており

、前記棟下地に対して棟板金が固定されている  
屋根。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

50

## 【0012】

この発明のある態様に従うと、  
アルミニウム製の部材であって、  
断面形状において、断面長手方向に延びる天面と、前記天面の断面長手方向端に形成された凹所と、前記天面における前記凹所が形成された端とは反対側の端から鉛直下方に延びる側面と、前記天面・前記凹所・前記側面で囲まれた内部空間とを有しており、  
上方に折り曲げられた、金属製横葺屋根材における鉄板部分の先端部を前記内部空間に収容するようにして配置される

棟下地が提供される。

## 【手続補正3】

10

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0013】

好適には、

前記側面の下端から前記凹所に向けて前記天面と平行に延びる戻り部を更に有している。

## 【手続補正4】

20

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0014】

この発明の別の態様に従うと、  
アルミニウム製の部材であって、

断面形状において、断面長手方向に延びる天面と、前記天面の両端からそれぞれ下方に延びる一対の側面と、一方の前記側面の下端から外方にに向けて前記天面と平行に延びる底面と、前記天面および一対の前記側面で囲まれた内部空間とを有しており、  
上方に折り曲げられた、金属製横葺屋根材における鉄板部分の先端部を前記内部空間に収容するようにして配置される

30

棟下地が提供される。

## 【手続補正5】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

50